

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成31年2月14日 (2019.2.14)

【公表番号】特表2018-538407(P2018-538407A)

【公表日】平成30年12月27日 (2018.12.27)

【年通号数】公開・登録公報2018-050

【出願番号】特願2018-530039(P2018-530039)

【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

C 0 8 L 69/00 (2006.01)

C 0 8 L 67/02 (2006.01)

C 0 8 L 83/04 (2006.01)

C 0 8 L 33/04 (2006.01)

C 0 8 L 51/08 (2006.01)

C 0 8 L 51/06 (2006.01)

C 0 8 L 25/12 (2006.01)

C 0 8 J 5/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 101/00

C 0 8 L 69/00

C 0 8 L 67/02

C 0 8 L 83/04

C 0 8 L 33/04

C 0 8 L 51/08

C 0 8 L 51/06

C 0 8 L 25/12

C 0 8 J 5/00 C F D

【手続補正書】

【提出日】平成30年12月10日 (2018.12.10)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A) 熱可塑性樹脂、

B) 機能性シェルポリマーを含まない、機能性シェルポリマーと反応することができる衝撃改質剤、および

C) コアシェル形態であり、機能性シェルポリマーを含む衝撃改質剤を含んでなる、熱可塑性組成物。

【請求項 2】

前記成分 B がシロキサンを含んでなる、請求項 1 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 3】

前記成分 B がアクリルを含んでなる、請求項 1 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 4】

前記成分 B が、エポキシ官能基を含まず、エポキシ官能基と反応することができる衝撃改質剤を含んでなる、請求項 1 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 5】

前記成分 B または成分 C がアクリレートを含んでなる、請求項 1 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 6】

前記成分 C の機能性シェルポリマーがエポキシ官能性である、請求項 1 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 7】

前記成分 C のエポキシ官能性が（メタ）クリル酸グリシジルである、請求項 6 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 8】

前記成分 B および成分 C が粒子の低凝集体を形成し、該低凝集体の少なくとも 50 % が、該低凝集体の面積の 31 ~ 60 % の空間を含んでなる、請求項 1 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 9】

前記低凝集体が、直径 0.4 ~ 4.0 ミクロンの粒子を含んでなる、請求項 8 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 10】

請求項 1 に記載の熱可塑性組成物を含んでなる、成形部品。

【請求項 11】

- 熱可塑性樹脂、および
- 粒子の低凝集体

を含んでなる熱可塑性組成物であって、

前記低凝集体の少なくとも 50 % が、前記低凝集体の面積の 31 ~ 60 % の空間を含んでなり、かつ、

前記粒子の低凝集体がコアシェル形態である粒子を含んでなる、熱可塑性組成物。

【請求項 12】

前記低凝集体が、衝撃改質剤である成分 B および第 2 の衝撃改質剤である成分 C を含んでなる、請求項 11 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 13】

前記成分 B が機能性シェルポリマーを含まない、請求項 12 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 14】

前記成分 C が機能性シェルポリマーを含んでなる、請求項 12 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 15】

前記成分 B がコアシェル形態である、請求項 12 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 16】

前記成分 B が、エポキシ官能性を含まず、エポキシ官能性と反応することができる衝撃改質剤を含んでなる、請求項 12 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 17】

前記成分 B または成分 C がアクリレートゴムを含んでなる、請求項 12 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 18】

前記成分 C の機能性シェルポリマーがエポキシ官能性である、請求項 12 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 19】

前記成分 C のエポキシ官能性が（メタ）クリル酸グリシジルである、請求項 12 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 20】

前記低凝集体が、直径 0.4 ~ 4.0 ミクロンの粒子を含んでなる、請求項 11 に記載の熱可塑性組成物。

【請求項 2 1】

請求項 1 1 に記載の熱可塑性組成物を含んでなる、成形部品。

【請求項 2 2】

- 熱可塑性樹脂、および
- 粒子の低凝集体

を含んでなる成形部品であって、

前記低凝集体の少なくとも 5 0 % が、前記低凝集体の面積の 3 1 ~ 6 0 % の空間を含んでなり、かつ、

前記粒子の低凝集体がコアシェル形態である粒子を含んでなる、成形部品。